

# は いちはら福祉ネットの 信

2019. 1. 25発行

VOL.49

発行者 中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット(千葉県委託事業)

〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-15

TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225

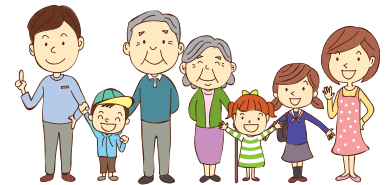
ホームページ [http://park22.wakwak.com/~ichihara\\_f.net/](http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/)

メールアドレス [ichihara\\_f.net@bh.wakwak.com](mailto:ichihara_f.net@bh.wakwak.com)



年4回発行(4,000部)

## 認知症になっても 住み慣れた地域で安心して暮らせるために ～認知症疾患医療センターの取り組み～



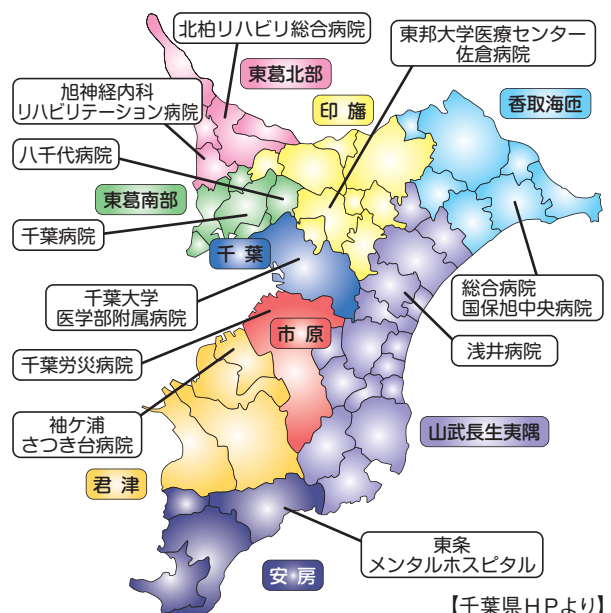
現在、様々な報道で高齢化社会の状況や、認知症高齢者を取り巻く問題が取り上げられています。日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究(H26年度)によると、全国の認知症高齢者は、平成24年時点で65歳以上の高齢者人口3,079万人に対し462万人、認知症有病率は15%(推計)となっています。また、MCI(認知症の前段階と言われる軽度認知障害)の推定値は約400万人で、有病率が13%という推計が出ており、今や認知症は誰もが関わる可能性がある身近な病気と言えます。

厚生労働省は、団塊世代が75歳以上になる2025年を見据えて、認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることが出来る社会の実現を目指し、平成27年に新たに「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」を関係府省庁と共同で策定し公表しました。認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくため、認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供が掲げられ、早期診断・早期対応のための体制整備として認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チームの設置等が推進されています。

### ● 認知症疾患医療センターをご存知ですか？

認知症疾患医療センターは、認知症の方とご家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援の一つとして、都道府県や政令指定都市が指定する病院に設置されており、平成30年11月現在、全国に440カ所、千葉県内には11カ所のセンターがあります。

市原市では、千葉ろうさい病院が市原鶴岡病院と提携し、平成28年1月に認知症疾患医療センターの指定を受けており、地域の医療機関や介護・福祉の関係機関と連携しながら、認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で長く安心して生活できるよう、適時・適切な医療の提供や支援体制構築のためのアドバイス等を行っています。



## ● 認知症疾患医療センターの役割について

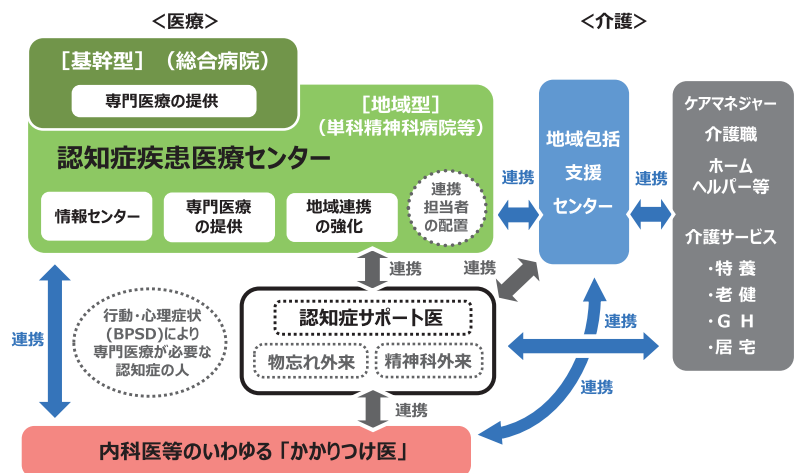
認知症疾患医療センターの主な業務内容は、

- ・ 認知症疾患に関する鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ・ 周辺症状と身体合併症への急性期対応
- ・ 専門医療相談
- ・ 認知症疾患医療連携協議会の設置及び運営
- ・ 地域保健医療、介護関係者への研修

等となっています。

『認知症のような症状がある』といっても、それが本当に認知症なのかどうかは、医師でないと分かりません。うつ病や、脱水症状、感染症などでも認知症と同じような症状がでる場合があります。また、認知症になった場合、地域で生活していくためには、介護サービスを活用していくことが有効です。認知症疾患医療センターは、地域の保健医療・介護関係者の研修などを行い、地域の医療・介護の連携を促進しています。

### 認知症疾患医療センターの機能と連携



## ● 認知症初期集中支援チームについて

現在、市原市では認知症の疑いがある人、認知症の人及びその家族に対して、複数の専門家が初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う『認知症初期集中支援チーム』が千葉ろうさい病院に設置され、認知症疾患医療センターのスタッフもチームの一員として活動しています。地域包括支援センターなどから持ち込まれた相談に対し、定期的に会議が開かれ、支援から遠ざかってしまっている方に対し、どのように介入すれば適切な医療・介護に結び付けられるか、どのようなサポートが必要かが検討されています。

## ● 認知症疾患医療センターを利用するには

### 認知症に関する相談

相談ダイヤル：0436-78-0765（面談も可）

対応時間：月曜日～金曜日 午前9：00～午後4：00

場所：千葉ろうさい病院 地域医療連携室内（正面玄関入ってすぐ左の部屋）

### 受診希望の場合

診療科：千葉ろうさい病院 脳神経外科 もの忘れ外来

診察日：完全予約制 水曜日、木曜日

予約方法：連携予約室（予約ダイヤル：0436-75-2733）にて予約

※原則、かかりつけ医からの紹介により診察を行う形になりますので紹介状をご準備下さい。

※受診困難な場合は、地域包括支援センターまたは認知症疾患医療センターにご相談下さい。

## ● まとめ

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療・介護の連携はもちろん、家族や周囲の方々の気づきや、適切な対応が重要になります。気になることがあるときには、かかりつけ医に相談したり、相談ダイヤルなどを活用することで、早期の対応が可能になります。『受診をしないから』『認知症だと認めてないから』といってあきらめず、まずはご相談してみたいかがでしょうか？

## 平成30年度千葉県地域福祉フォーラムシンポジウム 「災害に備えた地域づくりを 考えてみよう」 ～手を取り合って助け合う～



近年、各地で大規模な災害が発生しています。千葉県でも茂原市の水害、野田市・千葉市の竜巻等が起こっています。災害が発生した場合、公的支援（公助）は不可欠ですが、隣近所や地域での助け合いや自分の身を守る事（共助・互助・自助）が大変重要な役割を担うこととなります。

今年度の地域福祉フォーラムシンポジウムは「災害に備えた私たちの取組み」をテーマに、平常時から行っている地域での取組みの延長線上にある災害時の取組みを中心にこれからの地域づくりを考えることを目的として開催します。詳細はホームページに掲載されています。ぜひご参加ください。

- 【日 時】平成31年2月17日(日)  
12:40～16:00(受付・開場12:00～)
- 【会 場】千葉市生涯学習センター 2階ホール
- 【定 員】300名(先着順)
- 【参加費】無料
- 【申込・問合せ先】千葉県社会福祉協議会  
地域福祉推進班〔担当：佐久間・窪田〕  
TEL:043-245-1102 FAX:043-244-5201  
ホームページ：  
<http://www.chibakenshakyō.com/>

## 第3回

### いちほら認知症あんしんフェア

認知症の正しい知識や認知症の人への接し方をより多くの方々に知ってもらうために、今年は「ユニモちはら台」での開催が決定しました。

現在、ミニ講演会や様々な体験コーナー等、盛り沢山のイベント内容を検討しています。

ユニモちはら台にお買い物の際には是非お立ち寄りいただき、楽しく認知症を学んでみてはいかがでしょうか。

- 【日 時】平成31年4月21日(日)  
10:00～15:00
- 【会 場】ユニモちはら台 1階イベント会場
- 【内 容】内容が決まり次第、市原市認知症対策連絡協議会ホームページに掲載します。  
ホームページ：「市原市認知症対策連絡協議会」で検索してください。
- 【入 場】無料
- 【申 込】不要
- 【問合せ先】市原市役所 地域包括ケア推進課  
TEL:0436-23-7605 FAX:0436-24-7135



## シリーズ 「何が違う？障害者グループホームと認知症高齢者グループホーム」

～それぞれのグループホームでの暮らし～



今年度シリーズとして、障害者グループホームと認知症グループホームのそれぞれの違いを紹介してきました。基となる法律や入居している人の条件に違いはあるものの、それぞれのグループホームは、入居者同士や職員とコミュニケーションが取りやすい少人数の生活規模であること、また地域のイベント等を通じて地域住民と交流が図れることなど、様々な人と関わっていくなかで、入居者一人ひとりが自分らしい生活を送れるような暮らしを目指していることが共通していました。

障害や認知症があっても、生活の主体は入居者ご本人であるということを改めて感じました。

(終わり)



## 旬の食材を使ったヘルシーメニュー

春菊と大根で風邪予防

# 春菊とツナのおろしポン酢和え

(1人分：78Kcal)

材料(4人分) 春菊 1束、大根 5cm位、ツナ缶 1缶、和風だし 少々、ポン酢 大さじ1強

- 作り方…① 春菊は食べやすい大きさに切り、茹でて水気を絞る。  
 ② 大根はおろして軽く水気をきる。  
 ③ ツナ缶は油をきる。  
 ④ 茹でた春菊、大根おろし、ツナ缶、和風だし、ポン酢をまぜる。

### 栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「春菊のビタミンA、大根のビタミンCは風邪の予防や肌荒れに効果的です。春菊は茹でるとβカロテンの量が2倍になるので、おひたしや汁物がおすすめです。」

今回のレシピは、社会福祉法人クローバー会 障害者支援施設 第2クローバー学園 管理栄養士 森川浩子様提供していただきました。

## いちほら福祉ネット活動報告

### 【会議等出席・開催状況 H30/10/1～12/31】

- 10/ 7 ちはら台福祉のつどい
- 10/9・11/13・12/11 加茂地区民生委員児童委員協議会
- 10/9・11/13・12/11 市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 10/ 9 成年後見制度利用促進意見交換会
- 10/12・11/21・12/20 司法と福祉の勉強会
- 10/15・12/17 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議
- 10/17 難病相談支援センター運営委員会
- 10/18 市原認知症対策連絡協議会 定例会
- 10/23・11/14・12/9 市原市障害者週間啓発行事実行委員会
- 10/23・11/27・12/25 中核地域生活支援センター連絡協議会 例会
- 10/25 特別支援学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会
- 10/26・11/15・12/20 市原地域リハビリテーション広域支援センター ちーき会
- 11/ 1 市原市障がい者支援協議会 全体会
- 11/10 地域で防ごう消費者被害 in 千葉
- 11/14・12/13・12/20 地域ケア会議(辰巳地区、加茂・南総地区)
- 11/15 市原市社会福祉協議会 理事会
- 11/16 DV被害者支援連絡会議
- 11/22 中核地域生活支援センター連絡調整会議 障害部会
- 11/28 いちほら健倍づくりワークショップ
- 11/30 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業に係る研修会
- 11/30 市原市健康福祉センター 管内精神保健福祉担当者研修会

中核地域生活支援センターは、千葉県内13カ所(保健所圏域ごと)に設置されており、各圏域のセンターと中核市(柏市・船橋市)の3センターで『千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会』を設置しています。毎月各センターが集まり、情報交換や地域課題の検討などを行っています。連絡協議会の活動を通して、国全体の動きや県内の状況を共有し、各圏域の活動に役立てています。

### いちほら福祉ネットへの相談件数

(速報値)

平成30年10月～平成30年12月

延相談件数 1,972件(新規71件)

相談件数		対象者	
電話	1,511件	高齢者	237人
訪問	353件	障害者	793人
来所	71件	児童	83人
個別支援会議	37件	その他	859人

平成30年度(4月～12月)

延相談件数 5,918件

### 編集後記

新年がスタートしました。新元号となる今年、皆様はどのような年にしたいですか？平成を振り返ってみると、携帯電話の普及で世の中の生活様式が大きく変化したように思います。今後も起こりうる様々な変化に柔軟に対応し、皆様の生活に寄り添えるよう取り組んでいきたいと思えます。(スタッフ一同)

